

2013年度 海外実地研修に向けた事前調査の合同報告会

2014年5月28日(水)に、環境学研究科環境総合館レクチャーホールで、2014年2月～3月に実施した海外実地研修に向けた事前調査の成果について報告会を行った。

前半部では、フィリピン、カンボジア、ベトナム、インドネシアで実施した事前調査の活動内容の報告が行われた。それぞれの報告の内容は以下の通りである。

・フィリピン (実施期間 2014年2月20日-23日)

外国語によるコミュニケーション能力の向上ならびに異文化への対応力を培うこと、様々な参加者との活動を通じ、専門性の再認識とウェルビーイング実現に向けた課題発掘を「健康」の観点から行うことを目的として行われた。主な訪問先はラサール大学、フィリピンジェネラル病院、フィリピン大学マニラ校(6部局)、サンオーガスチン教会、マザーテレサハウス、サンアンドレアスマーケットである。これらにおいてそれぞれ、現地の医療従事者、学生との交流、市場における衛生環境の調査、男女平等については先進的である本地域の女性の役割に関する調査を行った。

・カンボジア (実施期間 2014年3月2日-8日)

アジアの農業の現場でどのような問題が生じているのか、また関連する複合的な問題を解決するためにどのように分野横断的に解決していくべきなのかを理解することを目的として行われた。Tamao 牧場、農村2ヶ村、カンボジア農業研究開発研究所、カンボジア王立農業大学を訪問し、農業普及機関における聞き取り調査、農村における聞き取り調査、品種改良を行っている研究所での聞き取り調査、調査に参加した学生(名大側-王立農業大学側)同士のディスカッションおよび現地発表を行った。

・ベトナム (実施期間 2014年3月12日-16日)

様々な発展段階にある社会において、貧困、医療、ジェンダーギャップをはじめとする問題に対する私たちの貢献可能性について理解することを目的として行った。ベンチェ省の保健省、市場、Tu du 病院、Mekong OBGYN 病院、French Vietnam 病院の産婦人科、救急科、観察室、分娩室、種子センター、養豚農家および一般の農家を訪問し、母子保健に関する聞き取り調査、農村における聞き取り調査、種子センターにおける聞き取り調査を行った。

・インドネシア (実施期間 2014年3月13日-21日)

教育を中心としながら、アジアのウェルビーイング実現を目指しグローバルに活躍する女性リーダーの資質、能力を醸成する基盤を形成することを目的として行った。スルタンアンググ大学医学部、ディポネゴロ大学、宗教教育機関、プランテーション農場、アイルランガ大学、プチュカン村、インドネシア中央銀行、地方自治体教育局を訪問し、現地の社会におけるイスラム教育の現状視察、地域農村の教育に関する聞き取り調査、財政と教育の関係に関する聞き取り調査、地域の教育の現状における聞き取り調査を行った。

・フィリピン（実施期間 2014 年 3 月 17 日-22 日）

フィールドワークの基本を **well-being** を取り巻く諸課題を通じて学ぶことおよび多様な人材からなるチームでの活動を通じてチームビルディングを学ぶことを目的として行った。**JICA** フィリピン、被災地の保健センター、フィリピン大学ロスバニョス校、被災地の農村を訪問し、**JICA** フィリピンにおける被害の実態に関する講義、被災住民への聞き取り調査、被災地における女性の現状に関する調査、地域の保健の状況に関する聞き取り調査、現地大学における報告会の実施を行った。

また後半部でそれぞれの報告を踏まえてウェルビーイングとは何かについて議論を行った。事前調査の成果の共有とウェルビーイングに対する一層の理解の促進、研究アシスタントである学生間の相互交流促進、海外実地研修の本格実施に向けて、事前調査を通じて得られた知見の共有を目的としてグループディスカッションを行い、調査報告を踏まえて「ウェルビーイングとは何か」について議論した。最後に情報共有のためのプレゼンテーションを各グループで行った。本報告会は前半、後半を通じて英語のみで実施した。参加者は約 100 名で非常に多く、盛況であった。

